

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソディック
 コード番号 6143 URL <http://www.sodick.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 克英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画本部本部長 (氏名) 古川 健一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 045-942-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	44,877		738		3,069		5,459	
20年3月期第3四半期	55,232	6.2	3,836	16.6	4,769	12.8	2,404	31.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	108.52	
20年3月期第3四半期	45.24	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第3四半期	92,229		32,381		31.9	594.64		
20年3月期	103,967		42,748		36.6	733.52		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 29,442百万円 20年3月期 38,001百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		10.00		10.00	20.00
21年3月期(予想)		10.00			

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
 平成21年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点で未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	23.3	1,200		4,600		5,750		114.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 有
 (注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 53,432,510株 | 20年3月期 | 53,432,510株 |
| 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 3,919,460株 | 20年3月期 | 1,626,188株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 50,312,048株 | 20年3月期第3四半期 | 53,155,052株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を發した金融危機が、米国の大手証券会社の破綻を引き起こすなど更なる混乱を見せる中、企業収益は悪化し、設備投資が激減するなど本格的な景気後退局面に突入しました。原油や原材料価格の高騰には歯止めがかかったものの、急激な円高の進行や株式市場の低迷による金融市場の収縮など、わが国経済の先行きは不透明感が増してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは国際的見本市であるJIMTOFに出展するなど、新製品とその優れた性能による生産性の向上をお客様にご提案し、新たな顧客の開拓に努めました。また急激に変化する経営環境に対応するため、グループ内の経営資源の最適化を目的として組織・人員配置の見直しを進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は448億77百万円となりました。利益面では、営業損失は7億38百万円、経常損失は30億69百万円、四半期純損失は54億59百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

前連結会計年度末と比較して、当第3四半期末の総資産は117億38百万円減少し922億29百万円となりました。主な減少要因としては、売掛金が59億75百万円減少したことなどがあげられます。

また、負債においては前連結会計年度末と比較して、13億70百万円減少し598億48百万円となりました。主な減少要因としては、買掛金が28億91百万円減少したことなどがあげられます。

純資産においては前連結会計年度末と比較して、103億67百万円減少し323億81百万円となりました。主な減少要因としては、四半期純損失54億59百万円、自己株式の取得11億63百万円、株式会社ソディックハイテック株式に対する公開買付等の実施により少数株主持分が18億32百万円減少したこと、為替換算調整勘定が5億96百万円減少したことなどがあげられます。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は米国の金融危機以降低迷しておりますが、9月以降の景況感の悪化は著しいものがあります。この世界的な実体経済の低迷による製造業の減産、設備稼働率の低下、それに伴う工作機械の内外需の減少は当面継続すると見込まれます。詳しくは、本日別途公表致しました「平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,925	19,974
受取手形及び売掛金	19,340	26,395
商品及び製品	7,240	6,447
仕掛品	6,840	7,162
原材料及び貯蔵品	6,583	6,879
その他	2,676	4,339
貸倒引当金	878	734
流動資産合計	57,728	70,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,862	19,084
機械装置及び運搬具	13,614	13,748
その他	11,874	11,660
減価償却累計額	17,798	17,338
有形固定資産合計	26,552	27,155
無形固定資産		
のれん	2,740	1,356
その他	908	898
無形固定資産合計	3,649	2,255
投資その他の資産		
その他	4,660	4,577
貸倒引当金	361	484
投資その他の資産合計	4,298	4,092
固定資産合計	34,500	33,502
資産合計	92,229	103,967

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,794	15,068
短期借入金	22,190	19,234
1年内返済予定の長期借入金	2,591	3,516
未払法人税等	29	723
引当金	548	1,067
その他	9,348	8,175
流動負債合計	45,503	47,785
固定負債		
社債	1,800	3,560
長期借入金	10,094	7,605
退職給付引当金	946	837
引当金	285	350
その他	1,218	1,080
固定負債合計	14,344	13,433
負債合計	59,848	61,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,775	20,775
資本剰余金	6,949	6,949
利益剰余金	4,726	11,230
自己株式	2,135	971
株主資本合計	30,316	37,984
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43	249
繰延ヘッジ損益	7	5
為替換算調整勘定	822	226
評価・換算差額等合計	873	16
新株予約権	66	42
少数株主持分	2,871	4,704
純資産合計	32,381	42,748
負債純資産合計	92,229	103,967

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	44,877
売上原価	32,168
売上総利益	12,708
割賦販売未実現利益戻入額	13
割賦販売未実現利益繰入額	3
差引売上総利益	12,719
販売費及び一般管理費	
人件費	5,396
貸倒引当金繰入額	498
のれん償却額	266
その他	7,295
販売費及び一般管理費合計	13,457
営業損失()	738
営業外収益	
受取利息	61
受取配当金	70
その他	370
営業外収益合計	502
営業外費用	
支払利息	433
為替差損	1,553
スワップ評価損	453
シンジケートローン手数料	225
その他	169
営業外費用合計	2,834
経常損失()	3,069
特別利益	
前期損益修正益	37
投資有価証券売却益	84
貸倒引当金戻入額	94
その他	39
特別利益合計	255
特別損失	
前期損益修正損	92
投資有価証券評価損	413
過年度製品保証引当金繰入額	81
その他	244
特別損失合計	833
税金等調整前四半期純損失()	3,647
法人税、住民税及び事業税	482
過年度法人税等	104
法人税等調整額	1,668
法人税等合計	2,046
少数株主損失()	234
四半期純損失()	5,459

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	3,647
減価償却費	2,128
のれん償却額	266
貸倒引当金の増減額(は減少)	87
受取利息及び受取配当金	132
支払利息	433
為替差損益(は益)	1,154
売上債権の増減額(は増加)	5,634
たな卸資産の増減額(は増加)	1,745
仕入債務の増減額(は減少)	3,424
未払金の増減額(は減少)	378
その他	1,900
小計	2,276
利息及び配当金の受取額	124
利息の支払額	424
法人税等の支払額	972
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	434
有形固定資産の取得による支出	1,953
有形固定資産の売却による収入	507
無形固定資産の取得による支出	625
無形固定資産の売却による収入	17
投資有価証券の取得による支出	1,181
投資有価証券の売却による収入	1,413
関係会社株式の取得による支出	3,037
関係会社出資金の払込による支出	119
貸付けによる支出	3,014
貸付金の回収による収入	1,525
その他	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	3,407
長期借入れによる収入	4,616
長期借入金の返済による支出	3,053
社債の償還による支出	260
少数株主からの払込みによる収入	15
自己株式の取得による支出	1,163
配当金の支払額	1,013
少数株主への配当金の支払額	169
ファイナンス・リース債務の返済による支出	94
その他	225
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	589
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,483
現金及び現金同等物の期首残高	19,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,298

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	工作機械 事業 (百万円)	産業機械 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	29,351	10,745	4,780	44,877	—	44,877
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	3	118	141	(141)	—
計	29,369	10,749	4,899	45,018	(141)	44,877
営業利益または営業損失(△)	569	320	△426	463	(1,202)	△738

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、日本工業規格に基づいて区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

工作機械事業……………NC放電加工機、マシニングセンタ、細穴加工機及び周辺機器

産業機械事業……………プラスチック射出成形機、リニアプレスマシン及び周辺機器

その他の事業……………金型統合生産システム、合成樹脂加工製品、食品機械及びその関連機器並びにその周辺機器

3. 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。この変更により、従来と同一基準による会計処理を行った場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益が「工作機械事業」で3億38百万円減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北・南米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	26,559	2,835	4,719	10,763	44,877	—	44,877
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,067	150	13	12,086	24,317	(24,317)	—
計	38,626	2,986	4,733	22,849	69,195	(24,317)	44,877
営業利益または営業損失 (△)	695	20	122	△337	501	(1,239)	△738

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法……地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国または地域

北・南米……アメリカ

欧州……ドイツ、イギリス

アジア……中国、台湾、中国香港、タイ、シンガポール、韓国

2. 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2. (2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。この変更により、従来と同一基準による会計処理を行った場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業損失が「アジア」で3億38百万円増加しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北・南米	欧州	アジア	計
I. 海外売上高 （百万円）	3,143	5,144	15,255	23,544
II. 連結売上高 （百万円）	—	—	—	44,877
III. 連結売上高に占める海外 売上高の割合（％）	7.0	11.5	34.0	52.5

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法……地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国または地域

北・南米…アメリカ、カナダ、メキシコ

欧州…ドイツ、ロシア、イタリア、トルコ、フランス、イギリス

アジア…中国、台湾、中国香港、タイ、シンガポール、韓国

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年5月20日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得等により、前連結会計年度末と比べて自己株式が11億63百万円増加しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期	
	(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額	百分比
売上高	55,232	100.0
売上原価	37,813	68.5
売上総利益	17,418	31.5
繰延割賦利益戻入	17	0.0
繰延割賦利益繰入	4	0.0
売上利益	17,431	31.5
販売費及び一般管理費	13,594	24.6
営業利益	3,836	6.9
営業外収益	1,515	2.7
受取利息	119	
為替差益	940	
その他	455	
営業外費用	583	1.0
支払利息	383	
その他	199	
経常利益	4,769	8.6
特別利益	169	0.3
投資有価証券売却益	3	
貸倒引当金戻入益	85	
前期損益修正益	60	
その他	20	
特別損失	184	0.3
固定資産除却損	27	
減損損失	0	
前期損益修正損	15	
過年度製品保証引当金繰入額	26	
持分変動差損	96	
その他	17	
税金等調整前四半期純利益	4,754	8.6
法人税等	1,890	3.4
少数株主利益	△459	△0.8
四半期純利益	2,404	4.4

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	工作機械	産業機械	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	39,794	9,160	6,278	55,232	—	55,232
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	107	7	267	381	(381)	—
計	39,901	9,167	6,545	55,614	(381)	55,232
営業費用	34,898	9,091	6,760	50,750	644	51,395
営業利益又は損失(△)	5,002	75	△214	4,863	(1,026)	3,836

〔所在地別セグメント情報〕

全年同四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北・南米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	29,136	3,121	6,127	16,846	55,232	—	55,232
(2) セグメント間の 内部売上高	17,848	245	2	19,311	37,408	(37,408)	—
計	46,985	3,367	6,129	36,158	92,640	(37,408)	55,232
営業費用	44,128	3,223	5,868	33,929	87,150	(35,755)	51,395
営業利益	2,856	143	261	2,228	5,489	(1,652)	3,836

〔海外売上高〕

前年同四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	北・南米	欧州	アジア	計
I. 海外売上高	3,229	6,812	20,749	30,791
II. 連結売上高	—	—	—	55,232
III. 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	5.8	12.3	37.6	55.7